

# 安城市内景況調査結果 (平成23年10月～12月)

## 〈小規模企業は依然、厳しい業況が続く〉

1. 調査対象 対象企業数 市内小規模事業者 75企業

2. 調査対象時期 平成23年10～12月期

(1)前年同期(平成22年10～12月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成24年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	18	12	18	27	75
構成比	24.0%	16.0%	24.0%	36.0%	100.0%

安城市内の小規模企業者の今期の業況判断DIは、△44.0ポイント、売上高DI・売上単価DIとも△40.0以上の厳しい判断となった。

来期の業況判断DIについても△34.7ポイントであり、売上高DI・売上単価DIも同様に、今期よりも回復に向け縮小したが、依然不透明感が残る予想である。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△15.9	△44.0	△34.7
売上高	△23.8	△40.0	△38.7
売上単価	△33.3	△48.0	△32.0
資金繰り	△15.9	△29.3	△26.7
借入難度	17.5	△13.3	△13.3
収益状況	△20.6	△52.0	△41.3
雇用人員	△3.2	5.3	1.3

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△44.0		△50.0		△58.3		△5.6		△59.3	
	売 上 高	△40.0		△38.9		△50.0		△11.1		△55.6	
	売 上 単 価	△48.0		△22.2		△66.7		△33.3		△66.7	
	資 金 繰 り	△29.3		△22.2		△33.3		△11.1		△44.4	
	借 入 難 度	△13.3		△27.8		△16.7		5.6		△14.8	
	収 益 状 況	△52.0		△33.3		△58.3		△33.3		△74.1	
	雇 用 人 員	△5.3		△11.7		0.0		△11.1		0.0	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△34.7		△5.6		△66.7		△33.3		△40.7	
	売 上 高	△38.7		△22.2		△50.0		△44.4		△40.7	
	売 上 単 価	△32.0		△11.1		△41.7		△22.2		△48.1	
	資 金 繰 り	△26.7		△16.7		△33.3		△16.7		△37.0	
	借 入 難 度	△13.3		△11.1		△8.3		△5.6		△22.2	
	収 益 状 況	△41.3		△44.4		△41.7		△38.9		△40.7	
	雇 用 人 員	1.3		0.0		0.0		0.0		3.7	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。